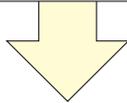


津波が発生したら高台に向かって逃げる。これが鉄則。

津波は地震発生後、あっという間にやってくる場合があります。

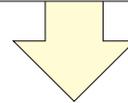
海岸にいるとき、強い地震や長い時間の揺れを感じたら、津波警報の有無にかかわらず、一刻も早くその場を離れて、高台などの安全な場所に避難しましょう。

- 強い地震や長い時間の揺れを感じたら
- 津波警報が発表されたら(揺れを感じない場合も)



- 海岸にいる人は、直ちに海岸から離れ、すばやく高台か高いビル、あるいは指定の避難場所に逃げましょう。
- 津波危険地区の住民は、直ちに避難しましょう。

- 津波注意報が発表されたら(揺れを感じない場合も)



- 海水浴や磯釣りは危険なので、直ちに中止し、安全な場所に移動しましょう。
- 津波危険地区の住民は、いつでも避難できるように準備しましょう。

津波避難所のマーク

津波注意

地震により津波が襲う危険のある地域であることを示します。



津波避難場所

津波に対して、安全な避難場所高台であることを示します。



津波避難ビル

津波に対して安全な避難ビルであることを示します。



津波のここに注意!

- ★津波は水深の深いところではスピードが速く、ジェット機（時速800km）ほどのスピードです。沿岸部でも、短距離選手なみのスピードです。
- ★水深の浅い近海に達すると、スピードは遅くなり、高さが高くなります。
- ★地形によって、津波の高さは想像以上です。陸上に駆け上がった津波には、高さが50cm程度でも、人が立っていらなくなるほどの強い力があります。

- ★津波は、繰り返し襲ってきます。警報、注意報が解除されるまで、海岸には近づかないようにしましょう。
- ★津波の前触れとして、必ず引き潮があるとは限りません。押し波でくることもあります。



【奥尻島の津波被害が語るもの】

平成5年の北海道南西沖地震では、揺れの直後に、最大20mを超える大津波が発生しました。

この大津波は、震源地に近かった奥尻島を急襲し、島の南端の青苗地区に壊滅的な打撃を与えました。

「逃げ始めたら、もう津波が襲ってきた」との証

言もあるように、地震発生から津波が襲うまで、わずか5分だったと言われています。

「津波は一気に襲ってくる。何はともあれ高台に逃げろ！」—貴重な教訓を語りかけています。